

パソコン室から 不定期 発行

No.21 平成19年6月14日 情報教育アドバイザー 広田 さち子

## Tab+-

vamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より

Tabキーをご存じでしょうか。キーボード「半角/全角:漢字キー」の下、" | ←" と "→ | " と いうマークがついています。ワープロソフトで文字を入力しているとき、入力位置を、タブの設定されている箇所(初期設定ではたいてい5文字単位)にずらすときに押します。

実はこのキー、とても使い道のあるキーです。

くワープロ以外のソフトで>試しにTabキーを押してみてください。ウィンドウのどこかが点線で 囲まれたり、文字が反転したりします。

パソコンの画面は、内部的にいくつかの「部品」を組み合わせて構成されています。この「部品」間を移動するのがTabキーです。

いくつかの入力フィールドや、選択肢がある場合(ダイアログボックスなど)では、その項目を 次々とたどるのがTabキーです。

移動先の項目が点線で囲まれた場合(「はい・いいえ・キャンセル」など)では、そこでEnterキ ーを押せば、クリックしたのと同じです。文字入力フィールドがあって、Tabキーで反転すれば (「名前を付けて保存」など)いきなり文字を書くことができます。(表示されている文字を消さなく てもいい) Tabキーで文字入力フィールドに移動すれば、そこにある文字列はたいてい反転し ますが、マウスで目的のフィールドをクリックすると反転しないので、書かれている文字を消さなく てはなりません。そういう意味でも、Tabキーを使うことで、作業能率を上げることができます。

また、こうやってTabキーを使ってフィールドを移動しているとき、もし、行き過ぎてしまったら、 Shift+Tabです。(Shiftキーを押さえた状態でTabキーを押す)すると、行き過ぎた所を後戻りする ことができます。

Excelの画面では、一般にEnterキーで入力を確定すると、セルポインタ(セルについている四角い表示、入力位置)が下方向に移動しますが、EnterキーのかわりにTabキーを押せば、右方向に移動することができます。右方向の入力が終了して下の段に行きたいときに初めてEnterキーを押せば、Tabキーを押し始めたセル位置の1つ下にセルポインタが移動して、次の行の入力を始めることができます。左へ戻るときは、Shift+Tabまたは、Ctrl+Z(元に戻す)です。

それぞれのウィンドウでのTabキーの機能は、一概には言えないので、とにかく試しにTabキー を押してみてください。その便利なことを、おわかりいただけると思います。